

(社) 日本雪氷学会東北支部

ニューズレター No. 39

積雪観測講習会の開催報告

今回で5回目となる東北支部主催の積雪観測講習会がスキーや樹氷で有名な蔵王の山麓に位置する蔵王温泉で開催された。今年度の暖冬や平日開催にもかかわらず9名の参加があった。受講者の内訳は行政関係者1名、学生2名、企業等の技術者6名で、すべて山形県内からの参加であった。

講習会では、午前中、パワーポイントを用いた降雪・積雪・雪の結晶等についての基礎知識やなだれ・地吹雪等雪による災害に関する講演あり、午後から外に出て実際に積雪の結晶形などの観測と積雪断面観測を行い、最後に観測データの整理実習を行った。

山形市内の平地部は2月下旬にはほとんど積雪がなくなり、今回の午後からの観測実習ができるか懸念されたが、数日前から降雪が続き、当日も雪がちらちら舞う天気、積雪が約1mと、積雪断面観測には理想的なコンディションとなった。野外の観測地の標高は830mで、降ってくる雪の結晶形の観測から始まった。結晶の観測では、雲粒付き樹枝状結晶が肉眼でも観測され受講者の興味が多いに高まった。断面観測では、当日観測された雪質は表面から下へ新雪、こしまり雪、しまり雪、ざらめ雪となっており、特にざらめ雪は発達が進んだ層も見られ、受講者は粒度ゲージやルーペ等を使い、その粒径の違いを熱心に観測していた。(写真1)受講生は初心者から仕事ですぐに実践する立場にある人まで多様であったが、講師の説明に熱心に耳を傾け、それぞれの立場からいろんな質問があった。その後、部屋にもどって断面観測データの整理を行った。(写真2)受講者から自分で層構造を図化したり、測定値をグラフ化したりすることで積雪に関する理解が深まり、さらに雪に対する興味がわいてきたという好意的な感想も聞かれた。受講者には後日東北支部長からの修了書が送付された。

記

日 時：2007年3月15日（木）10:00～16:00

場 所：蔵王温泉 旅館 季の里 (URL: <http://www.zao-kinosato.com/>)

〒990-2301 山形県山形市蔵王温泉1271-1

主 催：(社) 日本雪氷学会東北支部

(独) 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所

共 催：日本雪工学会

【積雪観測講習会】

○開催挨拶 沼澤 喜一（日本雪氷学会東北支部副支部長）

1. 基本学習(10:00-11:30) 佐藤 威（防災科学技術研究所）

(1) 雪の性質を知る

(2) 災害時の雪

2. 野外観測(13:30-15:00)

(1) 降積雪の観測 (結晶形など)

(2) 積雪断面観測 (雪温, 雪質, 密度, 硬度など)

観測講師: 佐藤 威・望月重人 (防災科学技術研究所)

沼澤喜一・山谷 睦 (日本地下水開発(株))

3. データ整理実習(15:00-16:00)

同上

○閉会挨拶 佐藤 威 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所長)

(沼澤喜一)



写真1 積雪断面観測状況



写真2 観測データの取りまとめ

東北支部大会の開催案内

2007年度 (社)日本雪氷学会東北支部大会(理事会、総会、研究発表会等)を、下記の予定で開催いたします。今回は、日本雪工学会北東北支部との合同開催となります。皆様のご参加ならびに研究発表をお願いします。なお、大会プログラムの詳細についてはニューズレターNo. 40でご連絡します。

1) 日時：2007年5月11日(金)・12日(土)

2) 場所：秋田県生涯学習センター「ジョイナス」

(〒010-0955 秋田県秋田市山王中島町1-1, 電話番号: 018-865-1171)

3) 参加費：1,000円(講演資料代を含む)

4) スケジュール：

2007年5月11日(金)

9:30～10:45 理事会

11:00～12:15 総会、授賞式

13:30～14:50 特別講演会

15:00～17:00 研究発表会

18:00～20:00 情報交換会

会場：秋田市協働社ビル

会費：3,000円

2007年5月12日(土)

9:15～12:30 研究発表会

5) 大会参加の申し込み及び研究発表題目の申込締切・A4版の講演要旨(1～2頁)
締切：4月23日(月)まで

なお、講演要旨の提出の際の封書は「原稿在中」と朱書きをしてください。

申込及び提出先：

〒010-8502

秋田市手形学園町1、秋田大学教育文化学部地学教室 本谷 研

(Tel. 018-889-2654, Fax. 018-889-2655)

※なお問い合わせ先のメールアドレスは以下のとおりです。

E-mail: kmoto@ipc.akita-u.ac.jp

6) 本原稿：A4版 camera ready、2または4頁を発表当日までに上記申込先に提出してください(投稿原稿のフォーマットは下記をご覧ください)。なお封書は「原稿在中」と朱書きをしてください。

7) 理事会：5月11日(金)に開催されます日本雪氷学会東北支部理事会の出欠について別紙様式のFAXでご返信ください。また、欠席される場合には、必ず別紙の委任状を送ってくださいますようお願いいたします。

8) 総会：5月11日(金)に開催されます日本雪氷学会東北支部総会の出欠について別紙様式のFAXでご返信ください。また、欠席される場合には、必ず別紙の委

任状を送ってくださいますようお願いいたします。

9) 宿泊など：各自で申し込んでください。

会場までの交通機関については、秋田県生涯学習センターのHPをご覧ください。

http://www.lifelong.pref.akita.jp/center_inf/

機関誌「東北の雪と生活」投稿原稿フォーマット
(雪氷学会全国大会の様式に従っています)

右肩上に鉛筆書きでページ記入

研 究 課 題 (センタリング、14 Pt.ゴシック)

氏名 (カッコ内に所属)、氏名 (カッコ内に所属)、
氏名 (カッコ内に所属) … 13pt.
(1行あける)

英文タイトル (センタリング、12 Pt. Arial)

ローマ字の氏名 (英語の所属、Times New Roman)、氏名 (連名者も同じ … 11Pt.
(1行あける)

1. 緒 言 (見出しは 11pt ゴシック)

----- 本文は 11 Pt 標準) -----

2. 実 験 方 法

2. 1 従来の方法

2. 2 装置の試作

原稿 (A4 版) 規格について
(そのまま印刷できる鮮明な Camera
ready の原稿に仕上げる)

1行 40字 (11 pt.標準) 1段組
1ページ 40行

3. 理 論 的 背 景

4. 結 果 と 考 察

上マージン	30mm
下	25
左	25
右	20

掲載原稿は2ページまたは4ページ にまとめる。

出席などの F a x 確認票

締切→ 2007.4.23

連絡先：秋田大学教育文化学部地学教室(〒010-8502 秋田市手形学園町1)
本谷 研(Tel. 018-889-2654, Fax. 018-889-2655)
問い合わせ先は次のメールへ E-mail: kmoto@ipc.akita-u.ac.jp

ご氏名：_____

連絡先：〒_____

Tel. _____ E-mail : _____

所属・職名：_____

※ 5月11日～12日に開催される日本雪氷学会東北支部大会の研究発表会で
発表する 発表しない (どちらかに丸印をつけてください)

発表課題：_____

発表者と所属： _____
(発表者に丸印) _____

* 「東北の雪と生活」第22号に論文だけ掲載希望の場合、5月11日まで上記連絡先へ原稿を提出ください。

※ 5月11日に開催される上記大会(秋田大会)の情報交換会(懇親会)に
参加 欠席 (どちらかに丸印をつけてください)

参加される方のご氏名： _____
所属： _____

※理事の方に対し

5月11日に開催される上記大会(秋田大会)の理事会に
出席 欠席 (どちらかに丸印をつけてください)

出席される方のご氏名： _____
所属： _____

※5月11日に開催される上記大会(秋田大会)の総会に
出席 欠席 (どちらかに丸印をつけてください)

出席される方のご氏名： _____
所属： _____

委 任 状

社団法人 日本雪氷学会東北支部
支部長 伊藤 驍 様

平成 19 年度（社）日本雪氷学会東北支部理事会において審議される案件について
_____に委任いたします。

2007 年 月 日

氏名 _____ 印

----- 切り取り線 -----

委 任 状

社団法人 日本雪氷学会東北支部
支部長 伊藤 驍 様

平成 19 年度（社）日本雪氷学会東北支部総会において審議される案件について
_____に委任いたします。

2007 年 月 日

氏名 _____ 印